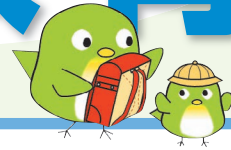


ちよっふの教育

発行 調布市教育委員会 編集 教育部教育総務課 (刊行物番号 2018-170)
調布市ホームページ <http://www.city.chofu.tokyo.jp/>



No.78
3/20

平成31年(2019)

「調布市教育プラン」を策定しました

問合せ/教育総務課 ☎481-7465



「調布市教育プラン」は教育委員会が掲げる教育目標の実現を図るために、平成22年3月に策定しました。その後、平成25年3月、平成27年3月に改定し、7つの重点プロジェクト、12の施策・44の主要事業に取り組んできました。

平成30年度は現在のプランの計画期間の最終年度になります。平成31年度以降の4年間は、今回策定した新しい「調布市教育プラン」に基づき、計画的に取組を推進してまいります。



主な策定のポイント

これまでの教育プランの取組を踏まえつつ、新たな学習指導要領、特別支援教育、不登校、いじめ、貧困、児童・生徒数の増加、学校施設の老朽化、教職員のワーク・ライフ・バランス等、調布市の教育環境を取り巻く喫緊の課題に対応するため、4つの視点から策定しました。

(1) 体系の再編

- 「調布市教育委員会教育目標・基本方針」に施策・主要事業を体系付け
- 「10の施策・34の主要事業」に再編 (旧教育プラン 12施策・44事業・7重点プロジェクト)

(2) 成果指標の設定

- 各施策の「ねらい」に対応した「成果指標」を設定
- 「児童・生徒の意識」にも着目 (施策1~3)

(3) 関連事業の設定

- 複数の施策・事業に関連する取組について、「関連事業」として位置付け、取組を推進

(4) 新規・拡充の取組

- 新たな学習指導要領、調布市教育大綱 (市長部局) との連携等を踏まえた取組

一人一人の子どもニーズに対応する教育を推進しています

問合せ/指導室 ☎481-7480

校内通級教室が全中学校に設置されます

平成31年度から、校内通級教室 (特別支援教室) を全中学校に設置します。

- 生徒の移動にかかる負担が軽減され、在籍校で過ごす時間が増えます。
- 生徒の学級への適応状況に応じた、きめ細かな指導が受けられます。

平成30年度 (一部先行実施)

- 拠点校の教員が第四中・第八中に行き、指導します。
- 下記3校以外の生徒は、第六中に通って指導を受けます。

第六中 第四中 第八中



※ 色付きは指導する教員が在籍する拠点校

平成31年度から

- 拠点校の教員が各校に行き、指導します。

第六中 第三中 第五中 第七中
第八中 調布中 神代中 第四中

※ 校内通級教室では、通常の学級に在籍する特別な支援を要する児童・生徒に対して、個に応じた自立活動を行います。

不登校児童・生徒への支援の充実に努めています

- 調布市では、不登校は、どの児童・生徒にも起こり得ることと捉え、新たな不登校を生まないという観点から「魅力ある学校づくり」を進めています。
- 現在学校に通いづらい、又は、通うことができていない児童・生徒のため、次の教室を設置し、支援を行っています。

- ① 小学生を対象とした適応指導教室「太陽の子」
- ② 中学生を対象とした分教室型の不登校特例校である調布市立第七中学校「はしうち教室」

「調布市立学校における働き方改革プラン」、 「調布市立中学校における運動部活動の方針」を策定しました

問合せ/指導室 ☎481-7480

調布市教育委員会では、教員の健康保持の実現と、職務に従事できる環境を整備し、学校教育の質の維持向上を図ることを目的に、「調布市立学校における働き方改革プラン」を策定しました。

今後、教員が担うべき業務に専念できる環境の確保、教員の意識改革、学校を支える人人体制の確保及び部活動の適正な実施等に取り組んでまいります。

また、生徒にとって望ましいスポーツ環境を構築するとともに、学校、地域、競技種目等に応じた多様な運動部活動が実施される機会が保障されることを目指し、「調布市立学校における運動部活動の方針」を策定しました。

本方針に基づき、各校でも独自の活動方針を策定し、生徒が充実した学校生活を送れるよう取り組んでまいります。なお、文化部は、運動部活動の方針に準じます。

平成30年度 調布市教育委員会表彰式

平成31年2月22日（金）に調布市グリーンホール小ホールで、スポーツ・文化活動等において、他の模範となる顕著な活動をした児童・生徒等を表彰しました。

今回は、46件（児童・生徒45件、教職員1件）の表彰を行い、教育長・教育委員から受賞者一人一人へ表彰状を授与しました。



受賞者代表の言葉

神代中学校第3学年 **花房 海** さん
(相撲、ラグビー／「スポーツにおける活躍」にて表彰)

私は、相撲で全国大会出場、神代中学校ラグビー部として関東大会出場、東京都中学校ラグビー選抜選手として全国大会6位という成績を収めることができました。そして、改めて教育委員会から表彰いただき、ありがとうございます。



私は、5歳から相撲を始めて、ラグビーは中学1年生から始めました。私が、ラグビーを始めた理由は、相撲のための体力をつけるためです。しかし、実際はラグビーと相撲との二足のわらじは大変でした。それでも、私にとって得るものはたくさんありました。特に、ラグビーを始めたことで色々な人と出会うことができたことが良かったです。私は高校からは相撲に専念しますが、今までのラグビーをやってきた経験は生きてくると思います。そして、今まで自分に関わっていただいた方々への感謝を忘れずに、これからは相撲道に精進したいと思います。

この度は、ありがとうございました。

問合せ／教育総務課 ☎481-7465

平成30年度調布市教育委員会表彰式 被表彰者一覧

平成31年2月22日の調布市教育委員会表彰式で表彰された方の一覧です。表彰理由等、詳細は調布市ホームページをご覧ください。



- **地域活動等における活躍**
 - 七中ボランティア・ネットワーク（七中VNW）
 - 生徒会役員会（第四中）
 - 鈴木 隆平（神代中）
 - 花房 海（神代中）
 - 渡邊 楓梨（神代中）
 - 鈴木 宏太郎（神代中）
 - 鈴木 実咲（神代中）
 - 澤田 樹輝（第三中）
 - 遠藤 心美（第三中）
 - 鳥住 真希（第三中）
 - ベイトマン 礼門（第三中）
 - 青柳 未愛（第五中）
 - 雨宮 暖（第五中）
 - 伊藤 里香奈（第六中）
 - 佐藤 吹（第八中）
 - 第一小フェニックス
 - 上ノ原小学校ダンスクラブ
 - ラグビー部（神代中）
- **スポーツにおける活躍**
 - 柿田 挑（第三小）
 - 富樫 嵩（第三小）
 - 鳥越 一汰（八雲台小）
 - 千田 歩（緑ヶ丘小）
 - 大木 一真（緑ヶ丘小）
 - 宮内 翼光（北ノ台小）
 - 宮内 優希（神代中）
 - 佐藤 弘夏（北ノ台小）
 - 櫻井 成（北ノ台小）
 - 田中 大貴（多摩川小）
 - 小原 朋華（杉森小）
 - 青山 詩乃（杉森小）
 - 酒井 玲菜（杉森小）
 - 高木 杏（国領小）
 - 北折 心飛（国領小）
 - 山川 遼己（布田小）
 - 加藤 大地（調布中）
 - 樋口 蒼大（調布中）
- **文化活動における活躍**
 - 宮川 裕考（第二小）
 - 池上 芽亜（第三小）
 - 古塩 結衣（第三小）
 - 張本 寿利（第三小）
 - 岸澤 梗（第三小）
- **教育活動等における活躍**
 - 森田 珠羽（第三小）
 - 佐藤 由子・森山 勇翔
 - 内田 圭紀（第三小）
 - 石坂 尚太（第三小）
 - 菊地 瑛斗（上ノ原小）
 - 高木 咲良（緑ヶ丘小）
 - 上ノ原小学校
 - 森田 ゆかり（八雲台小）



調布市のオリンピック・パラリンピック教育

調布市立小・中学校では、3つの視点に重点を置き、様々な教育活動に取り組んでいます。このような取組を通して、児童・生徒の運動やスポーツへの関心や親しみを一層高めるとともに、東京2020オリンピック・パラリンピックへ向けた機運の醸成を図っています。

問合せ／指導室 ☎481-7480

3つの視点

すべての子どもに参加の機会を！

すべての子どもたちが、競技の観戦や大会関連ボランティアなどで参加できる機会をつくっていきます。

子どもの未来につながる学習を！

東京2020大会と、さらにその先を見据え、子どもたちに何をどのように教え、体験させるかなどを考えていきます。

体験・交流活動を重視した学習を！

オリンピック・パラリンピックについての知識を習得するだけでなく、実際に体験や活動することを通じて学びを深めていきます。

4つのテーマ

オリンピック・パラリンピックの精神、歴史

国際理解、日本の伝統文化・芸能

スポーツ・交流

環境、ボランティア

4つのアクション

学ぶ〈知る〉

観る

する〈体験・交流〉

支える

調布市で開催予定の競技

- 7人制ラグビー
- サッカー
- バドミントン
- 車いすバスケットボール
- 自転車競技^(※1)（ロードレース）
- 近代五種^(※2)（水泳・フェンシング・馬術・レーザーラン^(※3)）

※1 「自転車競技（ロードレース）」は、武蔵野の森公園がスタート会場となります。
 ※2 「近代五種」とは、1人の選手が1日に全く異なる5種類の競技に挑戦し、限界に挑む競技です。
 ※3 「レーザーラン」とは、射撃とランニングを交互に4回行う競技です。

オリンピック・パラリンピック教育の取組

調布市立小・中学校では、全28校においてオリンピック・パラリンピック教育に取り組んでいます。オリンピック・パラリンピック競技について学んだり、実際に競技を体験したりすることはもちろん、国際理解や障害者理解などについても学習しています。

東京都内全校で実施している「世界ともだちプロジェクト」では、大使館員を学校に招いた講演会や当該国の郷土料理を給食で再現したり、発祥のスポーツや音楽に挑戦し、児童・生徒が体感したりしながら国際理解を深める教育活動



を行っています。

また、障害者理解教育では、パラリンピック競技の体験や車椅子・アイマスク体験など多岐にわたり学んでいます。知識を学ぶだけでなく、実際に経験し、子ども一人一人にとって「心で感じて、体で学び、考えをはたらかせて発信できるオリパラ教育」を目指しています。

今後も、オリンピック・パラリンピックに向けて、機運醸成を図りながら、学校のレガシーとなるようオリンピック・パラリンピック教育を推進してまいります。



第10回中学生「東京駅伝」大会

平成31年2月3日（日）に、東京都内23区、26市、1町の合計50チームが参加した市区町代表の中学校2年生による駅伝競走大会がアミノバイタルフィールド及びその周辺で行われました。

調布市立中学校及び私立中学校の代表で「チーム調布」を結成し、男子の部（42.195キロメートル）11位、女子の部（30キロメートル）8位と健闘いたしました。応援ありがとうございました。



●【就学相談（2020（平成32）年度入学）のご案内】2020（平成32）年4月入学予定のお子さんで、市立小学校に設置されている特別支援学級・通級指導学級及び校内通級教室への入級や、都立特別支援学校への入学を希望される場合は、就学相談への申込みが必要です。お早めに保護者の方から教育相談所（☎481-7634）にお電話ください。



南極大陸と第七中学校の授業中継

問合せ／指導室☎481-7480

平成31年2月8日（金）に、第七中学校で南極にある昭和基地から衛星回線を利用しての、「南極授業」が行われました。今回は第七中学校の高橋和代先生が、南極に派遣されていることから、実現しました。

実施当日は、1・2年生を対象に「南極海に生きる動物プランクトン」や「極地に生きる地衣類」をテーマにした授業を行いました。初めて南極の様子をリアルタイムで見る生徒たちは、南極の生物の様子やその環境に驚き、感動していました。地球規模で生き物と環境について考える絶好の機会になりました。



中継の様子

職場体験感謝状贈呈式

平成30年度の「調布市中学生職場体験」には市内延べ444の事業所にご協力いただき、中学生1,284人が職場体験学習を経験しました。本事業は中学生が、働くこととおして「勤労観」と、将来の自分について考える「職業観」を学ぶ大切な事業です。

毎年新たな事業所にもご協力いただくなか、本事業に10年以上ご協力いただいている事業所を対象に、感謝状を贈呈しました。今後も引き続き中学生の学習の場として、ご協力をよろしくお願いいたします。



記念撮影

問合せ／指導室☎481-7480

科学センター

問合せ／指導室☎481-7480



小学校5・6年生を対象とした「調布市科学センター」は、来年度、講座内容をリニューアルし、様々な「科学」講座を外務機関と連携して実施します。定員は50人程度で、4月中旬頃に学校を通して募集案内を配布予定です。



ガチャガチャ
さかなつり
おみくじ
などなど

図書館へ

あそびにきてね!

調布市立図書館
公式キャラクター
じろ

今年度、調布市立図書館では様々なイベントを行いました。本を借りて「じろ」のシールを集めるシールラリー、図書館にいそな妖怪を描いてもらう「としゃかんようかいだいぼしゅう」、えほんクイズを解いてガチャガチャを回すイベントや、福袋展示、「本まぐる」を釣るイベント、じろさがしやおみくじなどのイベントを行った図書館もありました。



▲ガチャガチャは各館に登場!



▲深大寺分館で本まぐるを釣り上げるイベント
(平成30年11月28日～平成31年1月27日)

今後も調布市立図書館は様々なイベントを展開していく予定です。調布市公式ツイッターや図書館ホームページ、館内ポスターでお知らせしますので、気になるイベントがありましたら、ぜひお気軽にご参加ください!

問合せ／図書館☎441-6181

教育随想

きょういくずいそう

校長先生に日ごろ感じている思いを聴きました

問合せ／教育総務課☎481-7465

心のふるさと

第二小学校長 **齋藤 秀史**

第二小学校は、調布市で唯一校庭全面が芝生の学校です。その芝生の上を子どもたちが元気よく走り回る姿は、本当にすてきです。転んでもけがの心配が少ないため、カー杯走っています。学校の行事だけでなく、夏まつりや地域運動会などの地域行事も、芝生の校庭で行われることで心が和むのは私だけではないと思います。

校歌に歌われているように、この第二小学校が、子どもたちにとって「心のふるさと」となってくれることを願っています。



周年行事と私

調布中学校長 **平岡 盛仁**

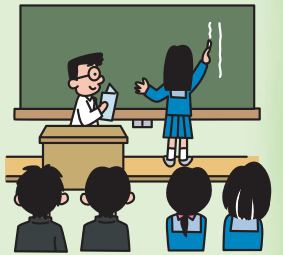
管理職になって思い出に残っていることは、赴任したどの学校でも周年行事があったということです。神代中学校では60周年、第三中学校では50周年、狛江第三中学校では40周年、そして調布中学校では70周年。周年行事を行うのは大変ですが、周年行事を行ったからこそ、多くの方と出会い、多くの事を学ぶことができました。私にとって周年行事は、私を成長させてくれた行事だと思っています。ありがとうございました。



人を育てる「教師道」

第六中学校長 **田代 和正**

日本には伝統工芸や伝統文化といわれるすばらしいものがあります。伝統職人の方々や、剣道、柔道、書道、茶道など「道」のつくものに精進する人の多くは修行という長い道のりを経て、その「道」を究め創造するまで、あらゆる努力と研鑽をしています。人を育てる教師の仕事も「職人」であると私は捉えています。良い授業を求めて教材研究をしますが、生徒の実態が違うため、個に応じた指導がこれで良かったかどうか常に反省し、また、生徒にとって楽しく充実した授業を求め日々が限りなく続く毎日「教師道」の修行に通じます。私たち教師は、あらゆる努力と研鑽を積み重ね、この時期に「次の時代を担う日本人を育てる。」という重要な使命をもって保護者や地域住民から付託されて仕事をしていることを忘れてはなりません。人を育てる「調布の教師道」に感謝しております。



挑戦

神代中学校長 **高橋 剛三**

人は常に挑戦をしなければならないと感じています。それは、いつの年代でも全てが初めての経験であり、何をやるにしても答えが示されているものではないからです。

一人一人は手探りで挑戦をすることにより、達成感を手に入れます。時には、挫折感である場合もあるでしょうが、それもまた経験となり次の機会に生かされます。大切なことは、初めの一歩が踏み出せるかどうかです。第一歩が出ないことには、充実感も生まれません。生涯、挑戦する気持ちを持ち続けていきたいと思っています。



感謝すべき人

第四中学校長 **菱沼 省二**

教員生活37年、私が関わった人はたくさんいます。その人達が、私のために何をしたのか、客観的な視点に立って考えてみました。私や学校を支えるために、何らかの支援の行動をした人が私の周辺にはたくさんいました。教育活動に苦しみ、もがいている時、多くのサポートがあったはず。今だから見えてくるのです。私は、本来感謝しなければならないのに、それを見逃していたことがあると反省しています。

今後は、周りの生徒・保護者・地域・教職員・教育委員会等の支えを見逃さず、感謝すべき人・感謝すべき行動に恥じない自分でありたいと考えます。ありがとうございました。



●【教育相談所・電話相談】専門の相談員が、いじめや友達関係など、学校生活や子育てに関する相談を匿名でお受けしています。お気軽にお電話ください。平日午前9時～午後6時（土日祝を除く）☎481-7777

●午後6時以降や休日の相談は、東京都教育相談センターをご利用ください。教育相談一般・いじめ相談 24時間受付☎0120-53-8288

平成31年度就学援助申請受付

4月からスタート!

～希望される方はお忘れなく!～

教育委員会では、児童・生徒が学校でひとしく勉強できるように、経済的に困りの保護者に対して、給食費や学用品費などの学校で必要とする費用の一部を援助しています。

希望される方は、学務課へご申請ください。

問合せ/学務課☎481-7473



対象者は

調布市に居住し、公立小・中学校に在籍する児童・生徒の保護者で、所定の認定要件に該当する方です。申請内容を審査して決定します。

主な認定要件

いずれか1つに該当する方が対象です。

- 児童扶養手当を受給している方
- 市民税が非課税の方
- 世帯の所得の合計が基準額未満の方 など
(収入・所得額の目安) 賃貸住宅の場合

世帯人数	2人	3人	4人	5人
収入例	約391万円	約468万円	約540万円	約627万円
所得例	約258万円	約320万円	約377万円	約447万円

※世帯構成・年齢・家賃月額などにより異なります。

詳細は、調布市ホームページをご確認いただくか、学務課へお問合わせください。

〈トップページ→子育て・教育→学校・就学→就学援助・奨学金〉からご覧ください。



申請の手続

①お知らせ・申請書の配付

毎年4月上旬に各学校から児童・生徒全員に配付します。

その他、学務課で受け取るか、調布市ホームページからダウンロードすることも可能です。

〈トップページ→子育て・教育→学校・就学→就学援助・奨学金〉からご覧ください。

②必要書類

- 申請書
- 必要な証明書等のコピー (必要な方のみ。申請書をご確認ください。)

③提出方法

調布市教育委員会学務課へ持参又は郵送

④受付期間

4月分から支給を受けたい場合は、平成31年(2019年)5月7日(予定)までに提出してください。

この期間以降に申請し認定となった場合は、申請を受け付けた月の翌月分から支給対象となりますので、お早めにご提出ください。



援助の内容

給食費・学用品費・通学用品費・校外活動費・新入学学用品費・新入学準備金・卒業記念品費・移動教室費・修学旅行費・体育実技用具費・通学費・医療費

※学年や認定月により受けられる援助の内容や支給金額が異なります。詳細は、お知らせをご確認ください。

【支給金額の例(年額)】

- 小学校6年生 約15万円
- 中学校3年生 約16万円



どなたでも参加できます

4月27日(土)は調布市防災教育の日

～「災害時のトイレ」について考えてみませんか～

教育委員会では、東日本大震災の教訓を風化させないため、4月の第4土曜日を「調布市防災教育の日」とし、自助・共助の精神を育む防災教育や防災訓練等を、全ての市立小・中学校で一斉に実施しています。

当日は、授業公開の他、保護者や地域の皆さんも参加できる、被災者や消防署員などによる防災公開講座、災害用トイレの組立や意見交換などを含めた避難所開設・運営訓練等を行いますので、お気軽にご参加ください。

実施内容の詳細は、4月に市報ちょうふ、市(教育総務課)のホームページなどでお知らせします。



マンホールトイレの設営



避難訓練の様子

台風等による水害に備えましょう

台風等は、事前の準備により、自身の安全を確保することができます。そのためには、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理した行動のチェックリスト(マイタイムライン)を作成することで被害の軽減につながります。

国土交通省関東地方整備局下館河川事務所 マイタイムラインのホームページをご覧ください。

▶下館河川事務所マイタイムラインホームページ二次元コード



問合せ/教育総務課☎481-7465



今後、安心・安全な給食提供に努めるとともに、児童・生徒が給食の時間を楽しみ、食を通して成長していけるよう取組を進めていきます。ご理解・ご協力をお願いします。

問合せ/学務課☎(481)7476

問合せ/学務課☎(481)7476

八雲台小学校給食調理業務等委託の決定

平成31年度から新たに八雲台小学校の調理業務等を民間事業者(協立給食株式会社)へ委託する予定です。献立作成や食材発注などは、引き続き学校職員(栄養士)が行い、安全で安心な給食の提供に努めますので、ご理解・ご協力をお願いします。

問合せ/学務課☎(481)7476

食物アレルギー対応を進めています

教育委員会では、文部科学省の対応指針等を踏まえ、市立学校の対応マニュアルに基づき、食物アレルギー対応を進めています。

また、不必要な食材の除去を減らすとともに一層の安全を確保するため、(公社)調布市医師会の協力により、現在の症状等の再確認や、より適切な対応に関する相談・指導(セカンドオピニオン)を促す取組を昨年に引き続き実施しました。

平成30年12月には、若葉小学校の給食室改修工事が完了し、食物アレルギー対応のための専用調理室(市内6校目)を設置しました。

給食費の納入をお願いします

学校給食の運営については、学校給食法の規定により、実施に必要な施設・設備の整備費、人件費、光熱水費などは市が負担し、給食食材調達のための原資となる食材費を給食費として保護者に負担していただいています。

給食費の未納がありますと、食材の発注や給食会計処理に影響しますので、引落口座残額の確認や期日までの納入をしていただき、円滑な給食運営にご協力をお願いします。

問合せ/学務課☎(481)7476

教育委員会のつぎ

○会議の開催状況

平成30年9月から平成31年2月までに、6回の定例会と5回の臨時会が開催されました。

○主な議案

- 調布市教育委員会表彰について
- 調布市教育委員会教育目標及び基本方針について
- 次期教育プラン(案)について
- 調布市立小・中学校における働き方改革プラン(案)について

教育委員会の審議日程・案件・会議録、教育委員の活動報告、教育長交際費の支出状況などは、市のホームページで公開しています。

「ちょうふの教育」をより良いものにしていくため、皆さまのご意見・ご感想をお待ちしています。

教育総務課
〒182-0026
調布市小島町2-36-1
☎481-7465
☎481-6466
メールアドレス
soumu@w2.city.chofu.tokyo.jp